

みなさん！こんにちは！

さつまいも通信の発行担当の人事総務部の■■■■です！毎月ご覧いただいているありがとうございます。今月も地域新聞社のパイオニアメンバーにちょっぴりと役に立ちそうな情報をお送り致します！！

みあげてごらん、星の空を

幼き頃、自分の高さよりもとても高いところを気持ちよく泳ぐ大きな鯉のぼりを見上げていた方も多いかと思います。ふと大人になった今、花見の席でも足元のお酒とおつまみばかり見つめて、青空を見上げる機会が減ったように思う今日頃です。先日、目黒川の桜並木を見上げながら散歩しました。小雨でしたがそれでも充分に美しい花びらを目の前で見て癒されました。暖かい日が増えて散歩にも行きたくなる季節、梅雨入り前の休日の気分転換として鯉のぼりのように大きな青空を見上げて物思いにふけるのもたまにはいかがでしょうか？肩も心もこころなしか軽くなるかもしれませんね。



くじら登り
・このぼりには地域によっては複数の呼び名があり、
「カツオ登り」
・鹿児島県枕崎市
・沖縄県本部町
「くじら登り」
・宮崎県宮崎市の佐土原町
と、呼ばれているらしいです。

人事総務部の あるある④

今回は■■のうっかり思い込みについてです。



みんな教えて！ Q.1 思い込みを防ぐ方法

<人事総務部 ■■■■の場合>

時に独断的に考えたことをそのまま引きずって激しく思い込むことがあります。そんな困った状況の中で最近やらかしている事が以下の2つです。

例1：自転車を駅に置き忘れる。（リマインダーすら忘れる。）

普段あまり自転車を使わないのに、いざ使おうとした時に、自宅がない事が多くあります。

たまに使っても、駅に置き忘れてそのまま忘れます。



例2：物の定位置を決めて、必ずなくなる。

さつまいも通信3号で、物の定位置を決める方法をお伝えしました。

しかし、それでも物がなくなることがまだあり、忘れたころに予想外の所から発見することも。

皆さんでしたらどのように対策しますか？人事総務部の■■までアドバイスを頂けましたら嬉しいです！

害と「がい」

もし周りの人々から「あなたは害がある」と言われたらどんな気持ちになりますか？とても不愉快な気分になるかと思います。私は障がい者手帳を持っていて障がい者であることを受け入れてあります。ですが、自分にはADHDを持っていてもそれが自分にとって「害」であると思ったことはありません。あくまで出来ない事と苦手な事があるだけです。それに直接他人には直接危害を加えません。新聞やNHKのニュースでさえもまだ「害」と表記されています。オフィスソフトのワードでさえも「障がい者」で入力すると誤入力で扱われてしまいます。

それでも、自分もことを指し示すにあたり「害」という言葉が含まれているのには違和感を感じてしまいます。なので、世間的にも一部で認知されつつある障「がい」者という言葉の方がまだしっくりきます。今更になりましたが社内で障がい者採用枠の名称公募の際に「パイオニアメンバー」という、素敵な名称を頂きました。そのほかにもパイオニアメンバーに負けない素敵な呼称もたくさん応募して頂きとても感謝しています。世間でも地域新聞社のように、「障害者」に代わる素敵な呼称が広まり、「害」という字が早くなくなっていると思います。

■■■■のちょっぴり情報室③

【なかなか広まらない見えないSOS】

あなたは街中で、白く細長い杖を両腕で高く持ち上げてじっとしている方を見掛けた事はありませんか？実はこれ、目の見えない方の「道に迷っています！助けてください！」というサインです。九州の団体が提唱したのが始まりですが、それでも肝心の視覚障がいの方々にすぐ理解していないのが現状です。しかも、駅のホームなど場合によっては危険がたくさんある場所で自分の目である杖を持ち上げられない状況もあります。杖を上げていなくても困っている可能性もある訳です。もし、どこかで白い杖を持った視覚障がいの方を見かけたときは杖の位置に関係なく自分の出来る範囲で見守る事も必要かもしれません。

